

独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の評価の視点等の変更（案）概要

1 評価の視点等（案）の位置付け

第3期中期目標期間（平成25年度から平成29年度）の国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の実績を評価するための指標となるもの。

2 主な改正内容

第3期中期目標・中期計画の改正内容に合わせ、評価項目について所要の改正を行った。

3 主な改正のポイント

①評価項目数の増減

中期目標等の内容の見直し等に伴い、評価項目を見直し。

ア. 旧評価項目6「施設利用者の地域移行のスピードアップ」、旧評価項目7「本人及び保護者の同意を得るための取組」及び旧評価項目8「移行先の確保、移行者に対する地域生活の定着支援」を統合し、評価項目6「施設利用者の地域移行への取組」に再編。

イ. 旧評価項目9「行動障害等を有するなど著しく支援が困難な者に対する支援」について、以下の支援内容別の評価項目を新設し、再編。

- ・ 評価項目7 施設入所利用者の高齢化に対応した支援
- ・ 評価項目8 著しい行動障害等を有する者等への支援
- ・ 評価項目9 矯正施設等退所者への支援
- ・ 評価項目10 発達障害児・者及び地域で生活する重度の障害児・者への支援

ウ. 旧評価項目17「人事に関する計画」及び旧評価項目18「施設・設備に関する計画」を統合し、評価項目18「その他業務運営に関する計画」に再編。

②評価項目1（効率的な業務運営体制の確立）（資料2-2：3ページ）

中期目標等で定めた目標値に合わせた数値目標を設定。

※ 常勤職員数：平成29年度末までに13%削減（対平成25年度当初）

③評価項目3（業務運営の効率化に伴う経費節減）（資料2-2：7ページ）

中期目標等で定めた目標値に合わせた数値目標を設定

※ 運営費交付金：平成29年度の額を平成24年度と比べて16%以上削減

④評価項目 6（施設利用者の地域移行への取組）（資料 2-2：13ページ）

中期目標等で定めた目標値に合わせた数値目標を設定。

※ 施設入所利用者数：平成 29 年度末までに 16%縮減（対平成 24 年度末）

中期目標等で定めた「地域移行への取組」に対応して、

- ・地域移行した者のフォローアップを定期的に行っているか。
- を新たに設定。

⑤評価項目 7（施設入所利用者の高齢化に対応した支援）（資料 2-2：14ページ）

中期目標等で定めた「高齢の施設入所利用者に対する専門性の高い支援を実践すること」に対応して、

- ・高齢の施設入所利用者の支援のため、研修を行うなど職員の専門性の向上に努めているか。
- ・高齢化に対応した施設、設備の整備や、日中活動プログラムの工夫などに取り組んでいるか。
- ・認知症、機能低下により医療的ケアの必要な利用者について、福祉と医療が連携した専門性の高い支援を行っているか。
- ・支援の実践等について、他の障害者支援施設・事業所が活用できるよう情報提供、普及に努めているか。

を新たに設定。

⑥評価項目 8（著しい行動障害等を有する者等への支援）（資料 2-2：15ページ）

中期目標等で定めた「著しい行動障害等を有する者や精神科病院に社会的入院等をしている知的障害者を受け入れることとし、有期限のモデル的支援として取り組むこと」に対応して、

- ・著しい行動障害等を有する者や精神科病院に社会的入院等をしている知的障害者（以下「著しい行動障害等を有する者等」という。）を受け入れ、サービスモデルの構築に向けて取り組んでいるか。また、他の障害者支援施設・事業所が活用できるよう情報提供、普及に努めているか。
- ・著しい行動障害等を有する者等の支援を行うため、研修を行うなど職員の専門性の向上、福祉と医療の連携に努めているか。

を新たに設定。

⑦評価項目 9（矯正施設等退所者への支援）（資料 2-2：16ページ）

中期目標等で定めた「福祉の支援を必要とする矯正施設を退所した知的障害者を受け入れることとし、有期限のモデル的支援として取り組むこと」に対応して、

- ・福祉の支援を必要とする矯正施設を退所した知的障害者（以下「矯正施設等退所者」

という。)を受入れ、サービスモデルの構築に向けて取り組んでいるか。また、他の障害者支援施設・事業所が活用できるよう情報提供、普及に努めているか。

- ・矯正施設等退所者の受入れ及び地域移行後の支援に関して、関係機関との連携が図られているか。

を新たに設定。

⑧評価項目 10 (発達障害児・者及び地域で生活する重度の障害児・者への支援)

(資料 2-2 : 17ページ)

中期目標等で定めた「発達障害児・者への支援、地域で生活する重度の障害児・者への支援」に対応して、

- ・発達障害児・者について、就学前から成人まで切れ目なく支援するための一環として、児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業に取り組んでいるか。
- ・地域で生活する重度の障害児・者への事業及び支援取り組んでいるか。国からの具体的な指示によるモデル的支援事業について、取り組んでいるか。
- ・支援の実践等について、他の障害者支援施設・事業所が活用できるよう情報提供、普及に努めているか。

を新たに設定。

⑨評価項目 11 (調査・研究のテーマ、実施体制等)

(資料 2-2 : 19ページ)

中期目標等で定めた目標値に合わせた数値目標を設定

※調査・研究のテーマ : 8 テーマ程度を設定

⑩評価項目 13 (養成・研修、ボランティアの養成)

(資料 2-2 : 23ページ)

中期目標等で定めた目標値に合わせた数値目標を設定

※国の政策課題や知的障害者に対する支援技術に関することをテーマとした研修等の開催回数を設定。

⑪評価項目 15 (その他の業務)

(資料 2-2 : 27ページ)

中期目標等で定めた「地域の障害者に対して企業等への就労に向けた支援を行うとともに、福祉的就労から雇用への移行促進を図るための支援を実施」に対応して、

- ・就労移行支援事業及び就労継続支援 B 型事業に取り組むことにより、地域の障害者の就労支援に努めているか。

を新たに設定。

※ その他、文言の修正や類似の項目の整理統合等の修正を行った。

評価項目の新旧対照表

新	旧
評価項目 1 効率的な業務運営体制の確立	評価項目 1 効率的な業務運営体制の確立
評価項目 2 内部統制・ガバナンス強化への取組	評価項目 2 内部統制・ガバナンス強化への取組
評価項目 3 業務運営の効率化に伴う経費削減	評価項目 3 業務運営の効率化に伴う経費削減
評価項目 4 効率的かつ効果的な施設・設備の利用	評価項目 4 効率的かつ効果的な施設・設備の利用
評価項目 5 合理化の推進	評価項目 5 合理化の推進
評価項目 6 施設利用者の地域移行への取組	評価項目 6 施設利用者の地域移行のスピードアップ
	評価項目 7 本人及び保護者の同意を得るための取組
	評価項目 8 移行先の確保、移行者に対する地域生活の定着支援
評価項目 7 施設入所利用者の高齢化に対応した支援	評価項目 9 行動障害等を有するなど著しく支援が困難な者に対する支援
評価項目 8 著しい行動障害等を有する者等への支援	
評価項目 9 矯正施設等退所者への支援	
評価項目 10 発達障害児・者及び地域で生活する重度の障害児・者への支援	
評価項目 11 調査・研究のテーマ、実施体制等	評価項目 10 調査・研究のテーマ、実施体制等
評価項目 12 成果の積極的な普及・活用	評価項目 11 成果の積極的な普及・活用
評価項目 13 養成・研修、ボランティアの養成	評価項目 12 養成・研修、ボランティアの養成
評価項目 14 援助・助言	評価項目 13 援助・助言
評価項目 15 その他の業務	評価項目 14 その他の業務
評価項目 16 サービス提供等に関する第三者から意見等を聴取する機会の確保	評価項目 15 サービス提供等に関する第三者から意見等を聴取する機会の確保
評価項目 17 予算、収支計画及び資金計画等	評価項目 16 予算、収支計画及び資金計画等
評価項目 18 その他業務運営に関する計画	評価項目 17 人事に関する計画
	評価項目 18 施設・設備に関する計画